

2011年度

科目名	図工科教育法				
担当教員	田中 孝治				
配当	教福3		コード	23073	
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数	2
授業テーマ	小学校における図画工作科の教育法を修得する				
目的と概要	「子どもの造形」がもつ特性を、発達の過程や表現などを通して明らかにし、造形することの意義や図画工作科の本質、教育の目標を考察する。さらに、図画工作科学習指導案の作成演習や実技実習を通して、子どもの造形表現に必要な基礎的・基本的なことがらについて、その取り扱いを修得する。また、図画工作科授業を通して一人一人の子どもの表現能力を高め、その育ちをどのように伸長させるのか、学習方法について研究を進める。				
成績評価法	・平常の学習の様子、授業時の発言(20%)・提出レポート(含・学習指導案)(30%)・模擬授業(20%)・期末テスト(30%)などによって総合的に評価する。				
テキスト	使用しない				
参考書	小学校学習指導要領 解説・図画工作編 文部科学省(日本文教出版)				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	講義内容について、予習して臨むこと。				
講義計画					
第1回 図画工作教育法研究の意義、美術教育の流れ					
第2回 学習指導要領と図画工作教育の目標					
第3回 内容構成及び学年別目標					
第4回 造形遊びの内容と指導例					
第5回 絵や立体に表す内容とその指導例					
第6回 工作に表す内容とその指導例					
第7回 材料用具の種類とその取り扱い方					
第8回 鑑賞活動の重要性とその方法					
第9回 題材設定のあり方と授業の進め方					
第10回 図画工作科授業の計画立案					
第11回 計画をもとにした学習指導案の作成①（試案）					
第12回 計画をもとにした学習指導案の作成②（完成）					
第13回 自作の指導案をもとにした模擬授業と研究協議①					
第14回 自作の指導案をもとにした模擬授業と研究協議②					
第15回 学習のまとめ—これからの教科教育					